

3(10) タカギ第二青梅橋マンション自治会防災訓練参加報告

タカギ第二青梅橋マンション自治会防災訓練参加報告

南街・桜が丘地域防災協議会本部

平成26年10月19日

平成25年10月19日に同上両自治会から20名強の参加があり、北多摩西部消防署のご指導により防災訓練（初期消火、及びDVD放映による防災講話）が開催されました。

訓練はタカギ青梅橋マンション自治会の広場及び会議室にて実施され参加者の皆様は熱心に受講されていました。

タカギ青梅橋マンション玄関



ご指導戴いた北多摩西部消防署隊員の皆様



参加して戴いた住民の皆様



消火器操作説明

消火器による初期消火訓練



初期消火訓練状況

防災講話聴取状況



3(11) 平成 26 年度南街・桜が丘地域防災協議会総合防災訓練

東大和市第二小学校防災委員会
南街・桜が丘地域防災協議会
平成 26 年 10 月 25 日

平成 26 年度南街・桜が丘地域防災協議会総合防災訓練

東大和市立第二小学校防災委員会及び南街・桜が丘地域防災協会に加盟の 21 団体と合同で、平成 26 年度総合防災訓練を 10 月 25 日に第二小学校校内／校庭で北多摩西部消防署、東大和市消防団／第七分団、東大和市防災安全課、東大和市社会福祉協議会、南街公民館、東大和市高齢者ほっと支援センターなんがいの各機関／団体及び第二小学校／第二中学校の教諭、両校 PTA、第二中学校生のボランティアの皆様のご協力より実施致しました。尚本訓練には東大和市議員の皆様及び地域の助産婦様のご参加もあり本紙にて改めて御礼申し上げます。

訓練内容は以下の報告の通りです。

● 第一部；第二小学校での防災訓練 (AM8.00～9.30)

この訓練は震災時避難所に指定されている第二小学校を、避難所として安全に使用出来るか点検する目的で実施する訓練で、第二小学校の防災委員、第二小学校職員、第二小学校 PTA 及び南街・桜が丘地域防災協議会加入の自治会／管理組合の防災担当者が集合し、復旧班による小学校内の各校舎及び校舎外全体の破損状況（現状の改善必要事項）の確認作業、救急班による救急救命及び誘導班による避難者の誘導シミュレーション作業を実施しました。

訓練終了後反省会を開催し、今後の活動に向けての改善点の意見交換を実施しました。
(反省会の議事録は別途発行します)



東通用門に関係者集合
開始指示



第二小学校校長；井内様による訓練

通用門の開錠



校舎通用口の開錠及び校舎への入場



防災仮本部に関係者の集合／訓練説明／反省会状況



点検結果報告の板書



● **第二部；体験型防災訓練（南街・桜が丘地域防災協議会防災訓練）（AM9.40～12.00）**

第二小学校の防災訓練に引き続き、第二小学校／第二中学校 PTA を含めての地域全体で体験型の総合防災訓練を実施しましたが、当日は訓練関係者を含め約 250 名の参加があり、参加者は 5 班に分れ下記の各訓練を体験致しました。

- ◎ 倒壊家屋救出訓練（北多摩西部消防署） ◎ 応急処置（東大和市消防団）
- ◎ 初期消火訓練（北多摩西部消防署） ◎ 車椅子操作訓練（東大和市社会福祉協議会）

- ◎ 起震車訓練（北多摩西部消防署）

これら訓練の他に下記の訓練及び広報活動も行いました。

- 防災協議会保管の各種防災機器展示／説明（防災協議会）
- 非常食の炊き出し訓練（女性班「たんぽぽ」、第二小／中学校 PTA、第二中学校生徒ボランティア）
- 特別イベント；防災協議会／女性班「たんぽぽ」活動パネル報告
（今回は協議会の歴年の防災以外の各種活動状況及び女性班「たんぽぽ」の炊き出し訓練を含む各種活動状況を体育館内のパネルでの報告、屋外では女性専用スペースの確保、ダンボール簡易トイレ／避難所でのダンボール簡易衝立等の展示も大変好評で、協議会の幅広い活動を訓練に参加の皆様にご理解して戴けたと思います）

これら訓練は各機関／団体の皆様にご指導により、所定の成果を挙げる事が出来ました。ご協力を戴いた皆様に本紙にて改めて御礼申し上げます。

開会式の様子

市長；尾崎様ご挨拶
挨拶



北多摩西部消防署
課長；小野寺様ご挨拶



第二小学校
校長；井内先生ご挨拶



椎野本部長



第二小学校教員の皆様



第二中学校校長
；高岡様ご挨拶



第二中学校教員の皆様



ご来賓の皆様



プラカードを先頭に自治会／管理組合毎に整列



各種訓練状況報

開会式終了後各班別に体験型訓練を開始しました。

炊き出し訓練参加の皆様者への作業内容説明



炊き出し器具の操作説明



非常食の特別メニューの説明

調理中状況



調理中状況



特別メニューの調理方法説明



調理した非常食類



防災協議会所有の防災器具の展示状況



起震車による耐震訓練



はしご車の機能説明



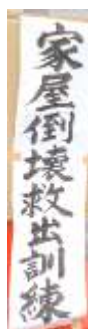
初期消火訓練（消火器を使用）
訓練説明



目標に向かって放水



家屋倒壊救出訓練



ジャッキの操作を含め救出方法を体験しました



応急救護訓練

応急救護訓練



AED 操作及び心肺蘇生の訓練を行いました



車椅子操作訓

操作説明状況



実際の場合正確に操作できるか？真剣に練習しました



活動状況を示した展示パネル類



女性スペースの設置



女性班のシンボル



簡易トイレ



スペース内設置状況



簡易衝立



閉会式



本部席

東大和市消防団団長
；中澤様



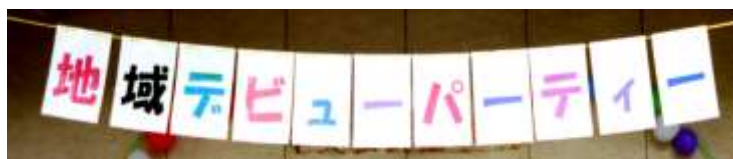
訓練の総評をお願い
致しました



閉会式の参加者整列状況



3(12) 地域デビューパーティーへの参加報告



南街・桜が丘地域防災協議会本部
平成26年11月02日

平成26年11月02日に中央公民館で開催された東大和市公民館主催の第二回地域デビューパーティーに当該防災協議会も第一回に引き続き参加致しました。今回は産業祭に合わせて開催しましたので多くの来場者があり、当該協議会は設立から現在に至る活動及び女性班「たんぽぽ」の活動状況を下記のパネル作成して、来場者にこれらを基に説明し当該協議会の存在を示す事が出来ました。



市長尾崎様視察



入口より左側コーナー



入口より右側コーナー



当該協議会のパネル展示位置

パネル展示全景



パソコンによる活動状況静止動画展示



高田さんによるパソコン画像調整



3(13) 第二中学校科学部との食品／空間放射線量測定実習

第二中学校科学部との食品／空間放射線量測定実習

南街・桜が丘地域防災協議会
平成26年度三役
平成26年11月08日

11月08日に第二中学校科学部と当該防災協議会女性班「たんぽぽ」で食品及び空間放射線量の測定実習を行いました。

当日は中学校から教師2名、生徒8名(一学年／二学年各4名)及び防災協議会から6名の参加があり実習を行いました。その結果は以下の通りです。

1. 食品の放射線量の測定

地産地消の観点から東大和市産のキャベツの含有放射線量を測定方法の説明、検体の準備(ミンチ状に加工)から測定終了まで約一時間かけて行い、その測定の結果として本測定器では測定不能の少量の値が計測されました。(食用として問題無しの判断)

キャベツをミンチ状に
加工する



測定器にキャベツ
を詰めた状態



放射線量測定中



2. 空間放射線量の測定

2班に分かれ約一時間をかけて第二中学校の敷地内を2班合計で14か所、5cm及び1mの高さで測定し、その結果として敷地内での線量の相違を確認出来ました。

測定結果発表



測定結果



校舎北側での測定



校庭中心点での測定



3(14) 北多摩西部消防署防火防災会「防火のつどい」

北多摩西部消防署防火のつどい参加報告

南街・桜が丘地域防災協議会本部

平成26年度11月12日

平成26年11月12日に北多摩西部消防署／北多摩西部災害防止協会が主催の平成26年度秋の火災予防運動の一環として「防火のつどい」が武蔵村山市さくらホールで開催されました。この集いは

- 第一部；火災予防功労者表彰式
- 第二部；防災講話(講師；防災システム研究所 所長；山村武彦氏)

で構成され、一部の表彰式には 南街・桜が丘地域防災協議会から第一光ヶ丘自治会及びプラウド地区自治会の2団体が表彰されました。参加報告は以下の通りです。

第一部；火災予防功労者表彰式状況



表彰式舞台

第一光ヶ丘自治会；会長 飯田様
「防災部長感謝状を授賞」



プラウド地区自治会；会長 西永様
「人命安全対策等推進功労を授賞」
(プラウド地区自治会を含め
12団体が授賞)



第二部；防災講話(講師；防災システム研究所 所長；山村武彦氏)



講演タイトル

大地震に備える

～実践的防災・危機管理～

講演の主な内容として

1. マニュアルは丸覚えでなく「物事の本質」を理解する。
2. 東日本大震災の教訓
3. 首都直下地震に備える、防災新常識
4. 近助の精神と防災隣組
5. 災害現場のちょっとしたいい話

が具体例を挙げて大変理解しやすい内容でした。講演の最後に防災は「近助の精神」が基本である心に残りました。

3(15) 協和三丁目自治会の救急救命訓練

協和三丁目自治会救急救命訓練参加報告

南街・桜が丘地域防災協議会本部

平成26年11月16日

11月16日に協和三丁目自治会の救急救命訓練が実施されました。当日は自治会から約15名の参加があり東大和市消防団及び女性消防団「なでしこ」のご指導により心肺蘇生、AED操作及び気道異物除去に関して受講しました。協和三丁目自治会はこの救急救命訓練を毎年定期的に行っている為、参加した会員の皆様はこれら訓練を手際よく対応する事が出来ており、訓練の成果が見られ、継続して実施する必要性を強く感じました。

大河原会長の開会挨拶



なでしこ；清水様



東大和市消防団
川島様

なでしこ
武田様

参加会員の皆様



心肺蘇生及びAEDの操作訓練状況

AED本体及び疑似人体



清水様／川島様による訓練詳細説明



武田様／川島様による
具体的な救急救命手順の
模範実技実施状況

傷病者の状態確認



協力者への呼びかけ



AEDの人体への装着



気道確保状況



気道異物除去訓練状況

背部叩打法説明



腹部突き上げ法説明



乳幼児／小児の場合



3(16) 第一光ヶ丘自治会災害時の応急給水訓練

災害時の応急給水訓練

(東大和給水所での応急給水方法の体験訓練)

南街・桜が丘地域防災協議会本部
平成26年11月20日

11月20日に第一光ヶ丘自治会主催で標題の「災害時応急給水訓練」を東大和給水所で、東京都水道局；上木原様他3名、東大和市防災安全課；今里様／枝村様／神山様にご指導戴き、第一光ヶ丘自治会、新海道自治会及び東京ユニオン管理組合(約20名の参加者があり)の会員が体験致しました。災害時の水の確保は最重要事項で、水道局／東大和市職員の熱心なご指導に本紙にて改めて御礼申し上げます。

東京都水道局；上木原様の訓練内容説明



自家発電機設備



下記説明書が装置前の壁に貼付されています

応急給水の操作手順

準備

1. 応急給水装置(応急給水栓・架台・給水ホース)の設置。応急給水栓及び架台・給水ホースは応急給水用自家発電室に収納してあります。

運転操作

2. 給水ホースを給水口①に接続する。
3. 応急給水用自家発電室内の応急給水設備操作盤により給水ポンプを運転する。
4. 空気抜き弁②を開け水が出ることを確認し閉める。
5. 応急給水弁③を開ける。
6. 設置した応急給水栓末端弁④を開き排水後に閉める。
7. 応急給水栓架台の給水栓を開けて給水する。

停止操作

8. 応急給水弁③を閉める。
9. 応急給水設備操作盤により給水ポンプを停止させる。

応急給水設備稼働手順説明



簡易給水装置の操作説明





飲み水として大人は3L／一日必要です

震災時の水の確保のために

一人一人の水の確保が大切です！

地震直後に何より役に立つのは、くみ置きした水道水です。

水のくみ置き三つのポイント



◆ ふたのできる清潔な容器に口元いっぱい ◆

蛇口から直接水道水をペットボトルなどの容器に口元までいっぱいに入れてください。

◆ 目安は一人一日3リットル ◆

くみ置きの目安は、成人で一日3リットル。1歳未満の乳幼児は一日1リットルです。

◆ 保存は冷暗所で3日、冷蔵庫で10日 ◆

直射日光を避け暗く涼しい場所での保管は3日程度、冷蔵庫では10日程度です。

東大和給水所「応急休止拠点」説明

給水拠点はこうなっている？





- ◆ 応急給水エリアを仕切り柵で区分、専用の出入り口を設置 ◆
- ◆ 蛇口をひねるだけで給水できる常設給水栓を設置 ◆
- ◆ 市町や自治会など「自助・共助」による応急給水活動が可能 ◆

大型看板が目印です

給水拠点には、目印となる
大型案内看板を設置しています。
(注：看板がない拠点も一部あります。)



～消火栓を活用した応急給水～

地震災害発生時には、浄水所・給水所等の給水拠点（多摩地区では97か所）で応急給水が行われます。
それとは別に、特に必要がある場合には、市職員や地域住民の方が協力する等により、**消火栓に仮設給水栓を接続して応急給水を行うことができます。**

仮設給水栓による応急給水方法

1. 蓋かきで消火栓の鉄蓋（丸型又は角形）を開ける
2. スタンドパイプを設置する
3. 仮設給水栓を組み立てる（手で組み立てられます。道具不要）
4. 消火栓と仮設給水栓を接続する
5. 開栓器で消火栓のバルブを開け、給水開始
6. 持参した給水袋などに給水する

清潔な容器をご用意ください

給水拠点の改造

現在、水道局では、都内の給水拠点のうち、浄水所や給水所について順次改造工事を行っています。

浄水所や給水所では、発災時に水道局職員が参集して鍵を開け、蛇口を組み立てて応急給水を行うことになっています。しかし、職員の到着を待たずに、地域住民の皆さんが自ら簡単に水を出すことができるよう、施設用地の一角（応急給水エリア）に家庭にあるような蛇口を複数設置したり、停電時にも稼働するポンプを整備するなど、施設の改造を行っています。

浄水所・給水所等



▲ 区画された応急給水エリア

3(17) 栄三丁目自治会「第二回地域の高齢者見守り／車椅子操作訓練」報告

第二回地域の高齢者見守り／車椅子操作訓練報告

栄三丁目自治会
平成26年度三役
平成26年11月22日

11月22日にパンダ公園にて車椅子操作及び第二回地域の見守り訓練を行いました。当日は東大和市社会福祉協議会から鎌田様／浅見様、南街公民館から館長；溝呂木様、東大和第二小学校PTAの皆様及び自治会員；20名の合計30名に参加して戴き、初冬の天候にも恵まれた中、車椅子の操作は東大和市社会福祉協議会及び南街公民館の職員の方から熱心なご指導をして戴き訓練を実施する事が出来ました。訓練は平成26年度東京都地域の底力再生事業助成で購入した車椅子；2台及びパトロール用ベストを実際に使用して実施しました。尚車椅子操作訓練終了後第二回地域の見守り訓練を実施しました。

1. 車椅子訓練内容

車椅子訓練は下記の内容を実施しました。

- 公園内での障害物を利用した基本操作訓練習得。
- 避難所の第二小学校迄訓練している公園から実際の道路を使用して避難所の第二小学校まで車椅子で実際の道路を使用して操作の体験

購入機材明細



訓練用車椅子の準備状況



パトロール用ベスト着用状況



社会福祉協議会 鎌田様 浅見様
南街公民館 館長 溝呂木様



訓練に参加した会員の皆様



「平成26年度東京都地域の底力再生事業助成」対象事業



搭乗前確認

基本操作説明



搭乗確認



段差走行操作方法



不整備道路の車椅子走行
3人で操作



狭隘通路の走行

操作実習の開始



訓練者が車椅子搭乗

操作訓練台

操作台上での操作実習



縁石から降りる実習



狭隘場所の操作実習



不整備道路の車椅子走行



公園外で整列



一般道路走行



横断歩道走行



避難所
東大和第二小学校
前に到着



横断歩道走行中



公園の縁石段越え実習



浅見様



鎌田様



溝呂木様



閉会式



見守りに参加して戴いた皆様



3(18) 第一光ヶ丘自治会の災害時のプールの水利用の給水訓練

災害時のプールの水利用の給水訓練 (各学校に配備されている濾過装置の説明、操作方法の見学)

南街・桜が丘地域防災協議会本部
平成26年11月28日

11月28日に第一光ヶ丘自治会主催で標題の「災害時のプールの水利用の給水訓練」を東大和市第八小学校で、東大和市防災安全課；枝村様／神山様及び日本フィルコン(株)社員；2名様にご指導戴き、第一光ヶ丘自治会、新海道自治会、協和二丁目自治会及び南街・桜が丘地域防災協議会本部(約20名)の参加者があり飲料用濾過装置浄水装置の操作方法説明の受講及び実際に浄化されたプールの水の試飲を行いました。災害時の水の確保は最重要事項で、水道局／東大和市職員の熱心なご指導に本紙にて改めて御礼申し上げます。

「災害時に於ける飲料水の給水には、① 災害時協定による市内民間企業からの提供や各備蓄コンテナ保管のミネラルウォーター、② 災害対策用指定井戸の利用、③ 公共施設受水槽の利用、④ 東京都水道局の給水拠点による応急給水、⑤ 濾過装置による小中学校等のプールの水の利用などがあります。

今回は、⑤のプールの水を濾過装置で飲料水にする給水操作説明会を実施します。

小中学校のプールの水は飲料水としても利用可能なことから各学校には濾過装置が配備されています。しかし、フィルター等が高価なために給水訓練をすることが出来ません。今回は業者の点検に合わせて濾過装置の説明、操作方法の見学をさせて頂きます。」

防災安全課

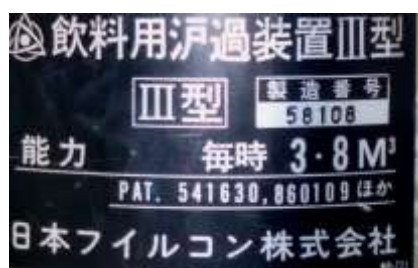
枝村様

神山様



飲料用濾過装置

フィルター部分



2サイクルエンジン
及びポンプ

説明を受ける参加者



各種試薬／塩素含有測定器



投入完了



活性炭／珪藻土の機器へ投入

投入中



業者による機器の全体説明





塩素投入口



測定水



水中塩素含有測定方法

測定器



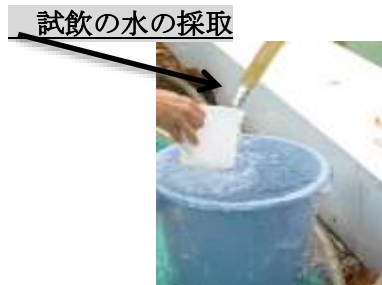
測定中



プールの水の色



濾過後の水の色



試飲の水の採取



見学状況



濾過器フィルター清掃中の排水された水の色



フィルターカバー外し



フィルターの清掃作業



フィルターを外した状態

3(19) 地域防災学習交流会「避難所運営の手順と方法」

平成26年度 地域防災学習交流会（後期）

「避難所運営の手順と方法」

南街・桜が丘地域防災協議会本部

平成26年12月07日

東京都総務局総合防災部防災管理課

東京都の地域防災関連団体を対象とした平成26年度地域防災学習交流会(後期)を標題の通り、「避難所運営の手順と方法」について、(株)イオタの高梨先生にご講演をして戴きました。当日は防災協議会会員、東大和市役所防災安全課；今里係長、東大和市社会福祉協議会；浅見様、南街公民館；溝呂木館長、南街長寿会；細矢会長、東大和高齢者ほっと支援センター；富田様及び第二小学校PTAの皆様を含め50名強の方にご参加戴き、標題についての講演及び図上訓練演習を実施しました。今後今回の講演の中より協議会として新規に取り組み出来る内容を検討して是非実施して行きたいと思えます。

(株)イオタ；高梨様



椎野本部長



今里係長



参加者の皆様



講演内容はプロジェクタを使用して実施されました



講演中の高梨様



使用資料；本日の講演会には下記の資料を使用しました。

- 東京消防庁；まちかど防災訓練のご紹介
- 学習会資料；避難所運営の手順と方法
- 交流会資料；図上訓練演習シート
- 東京都；防災隣組事業のご案内

3(20) 栄三丁目自治会非常食調理訓練(α化米炊き出し／カレー調理／焼き芋)
公園清掃／非常食調理訓練(α化米炊き出し／カレー調理
／焼き芋)報告

栄三丁目自治会
平成26年度三役
平成26年12月14日

恒例の公園清掃／非常食調理訓練(α化米炊き出し／カレー調理／焼き芋)を12月14日(日曜日)に開催しました所PTA及び自治会会員の約60名の皆様にお集まり戴きました。今回はお子様の参加も多く公園内活気がみなぎる中、参加の皆様にそれぞれ分担して種々作業をして戴いた為、短時間で作業が終了する事が出来、参加者全員で調理したカレー／焼き芋を食べながら、初冬の暖かい日差しを浴びながら公園内で参加者の皆様と歓談が出来た事は大変良かったと思います。



カレーの調理状況



焼き芋作業状況

